SRBS シリーズ 🕬





Radial Beam Coupling (Stainless Steel Body) ラジアルビームカップリング (ステンレススチール本体)



構造及び材質

一般型





セットスクリュー(SRBS-無記号)

クランプタイプ(SRBS-C)

構造	材質	表面処理
本体	ステンレススチール	_
締結ボルト	SUSXM7	_

省スペース型



クランプタイプ(SRBMS-C)

構造	材質	表面処理
本体	ステンレススチール	_
締結ボルト	SUSXM7	_

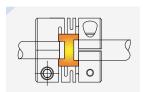
特徴及び用途

- ラジアルビームカップリングは、金属一体型カップリングでバックラッシュがなく、スリット構造により非整列を吸収します。
- SRBSシリーズはステンレススチールを採用し、耐食性を向上させた製品です。

四上で 672数曲	C 9 °	SRBS	SRBMS
ゼロバックラッ	シュ(精密度)	☆	$\stackrel{\wedge}{\leadsto}$
高いトルク伝達	力(耐久性)	\triangle	\triangle
ねじり剛性		0	0
振動の吸収/減弱	衰	_	_
非整列吸収		0	Δ
耐食性		☆	☆
	サーボ	0	0
	ステッピング	0	0
適用モーター	エンコーダー	0	0
	汎用	_	_

主要用途:UVWステージ、XYステージ、パーツフィーダー、 エンコーダー、要耐食性環境

リリーフ構造



■ 非整列発生時の内部干渉に よる破損を防ぐため、 リリーフ加工が施されて います。

スリットラウンディング処理



スリットからの応力集中を 避けるため、ラウンド処理 されています。

締結方式

セットスクリュータイプ	一般	\triangle
ピットスクリュータイク	キー溝	0
	一般	0
クランプタイプ	クランプ分離	×
	キー溝	0
テーパータイプ	×	

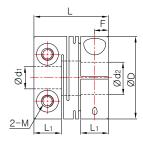
注文方法



SRBS シリーズ (SRBMS)

Radial Beam Coupling (Stainless Steel Body) ラジアルビームカップリング (ステンレススチール本体)

クランプタイプ(SRBMS-C)





規格及び性能

	寸法 (±0.3mm)			締結ボルト		常用 最大		最大		ねじり		ミスアライメント許容値			
製品番号	D		L ₁		サイズ	締結 トルク (N·m)	トルク (N·m)	トルク (N·m)	回転数 (min ⁻¹)	モーメント (kg·m²)	剛性 (N·m/rad)	質量 (g)	偏角 (°)	偏芯 (mm)	エンド プレー (mm)
SRBMS-12C	12.7	14	5	2.5	M2	0.5	0.2	0.4	20,000	2.4×10 ⁻⁷	120	10	1	-	±0.15
SRBMS-16C	16	16	6	3	M2.6	1	0.4	0.8	20,000	7.0×10 ⁻⁷	240	20	1	-	±0.15
SRBMS-19C	19.1	17	6.3	3.1	M2.6	1	0.6	1.2	19,000	1.5×10 ⁻⁶	300	32	1	_	±0.15
SRBMS-22C	22.2	20	7.4	3.7	M3	1.5	1	2	17,000	3.1×10 ⁻⁶	350	42	1	-	±0.15
SRBMS-26C	26.2	23	8.4	4.1	M3	1.5	2	4	15,000	7.2×10 ⁻⁶	720	70	1	_	±0.15
SRBMS-32C	31.8	30	11	5.4	M4	2.5	3.8	7.6	10,000	2.0×10 ⁻⁵	1,300	140	1	-	±0.15

- 慣性モーメント及び質量は、各製品番号における最大内径時の値です。
- •最大トルク/常用トルクはカップリング自体の耐久性に影響する値です。(軸と内径穴の間で発生するスリップトルクとは関係ありません。)

標準内径

#11 0 77 0	標準内径 (d ₁ , d ₂) (mm)													
製品番号					6.35		9.525		11	12	14	15		
SRBMS-12C	•	•	•											
SRBMS-16C	•	•	•	•										
SRBMS-19C		•	•	•	•	•								
SRBMS-22C			•	•	•	•	•	•						
SRBMS-26C			•	•	•	•	•	•	•	•				
SRBMS-32C						•	•	•	•	•	•	•		
# m + + 6 / 2 * 1 !				-11-17-14				(50) (50)						

- ・使用軸の公差はh7を推奨します。
- キー溝加工対応可能です。
- 非標準内径及び特殊公差の適用が可能です。 (別途お問い合せ下さい。)

軸スリップトルク

- 下記の表は該当カップリングの最大トルクより軸スリップトルクが小さい場合に、実際に伝達可能なトルク情報です。
- 軸スリップトルクがカップリングの最大トルクより小さい場合、実際に適用される使用トルク(モーター仕様及び負荷率要確認)と 軸スリップトルクを比較して下さい。使用トルクよりも軸スリップトルクが小さい場合は、一回り大きな製品もしくはキー溝品の で使用をお勧めします。
- 下記のスリップトルクは試験条件(軸の公差、粗度、駆動軸の加減速等)によって差異が生じる場合があります。また締結ボルトの 材質又は表面処理により減少することがあるので、必ずで使用前に実際の使用条件と同一の条件下でテストされることを推奨します。

最大トルクし	内径別スリップトルク (N·m)											
(N·m)					6.35		9.525	10	11	12	14	15
0.4	0.3	0.3	0.3									
8.0	0.4	0.5										
1.2		0.7	1.1									
2			1	1.3	1.4	1.8						
4			1.3	1.3	1.6	2.2	2	2	2.3			
7.6						1.5	1.5	1.5	1.7	2.9	4.1	3.5
	0.4 0.8 1.2 2 4	(N·m) 3 0.4 0.3 0.8 0.4 1.2 2 4 4	(N·m) 3 4 0.4 0.3 0.3 0.8 0.4 0.5 1.2 0.7 2 4	(N·m) 3 4 5 0.4 0.3 0.3 0.3 0.8 0.4 0.5 1.2 0.7 1.1 2 1 1 4 1.3	(N·m) 3 4 5 6 0.4 0.3 0.3 0.3 0.8 0.4 0.5 1.2 0.7 1.1 2 1 1.3 4 1.3 1.3	(N·m) 3 4 5 6 6.35 0.4 0.3 0.3 0.3 0.3 0.8 0.4 0.5 0.7 1.1 0.7 1.1 0.7 1.1 0.7 1.3 1.4 1.3 1.4 1.3 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.6 1.2 1.2 1.2 1.2 1.3 1.6 1.6 1.6 1.2 1.2 1.3 1.6 1.6 1.2	(N·m) 3 4 5 6 6.35 8 0.4 0.3 0.3 0.3 0.3 0.3 0.3 0.3 0.4 0.5 0.7 1.1 0.7 1.1 1.3 1.4 1.8 1.8 1.3 1.6 2.2 1.3 1.3 1.6 2.2 1.3 1.3 1.6 2.2 1.3	(N·m) 3 4 5 6 6.35 8 9.525 0.4 0.3 0.2 0.7 1.1 1.3	(N·m) 3 4 5 6 6.35 8 9.525 10 0.4 0.3	(N·m) 3 4 5 6 6.35 8 9.525 10 11 0.4 0.3	(N·m) 3 4 5 6 6.35 8 9.525 10 11 12 0.4 0.3	(N·m) 3 4 5 6 6.35 8 9.525 10 11 12 14 0.4 0.3 <